



地区ごとのリーダーの紹介。マイクを持つのが会長の譚さん

ブラジル人のコミュニティ発足

総社ブラジリアンコミュニティ

市内に在住・在勤のブラジル人によるコミュニティ組織「総社ブラジリアンコミュニティ」が発足。その設立式が7月18日、総合福祉センターで開かれブラジル人約40人が出席しました。

この組織は、ブラジル人同士お互いに助け合いながら情報の共有や、日本人コミュニティとの交流を目指す民間団体です。4つの地区グループから構成され、会員数は約200人。会長には、市の多文化共生推進員でもある譚俊偉さんが就任しました。

昨年10月に話がもち上がり、今年3月に立ち上げが決定。当面は、定期的に役員会を開催するほか、会員名簿の作成などを行う予定。

ミニフォト

異文化にふれ、交流を



壮行式で激励を受ける生徒

7月29日、総合福祉センターで海外ホームステイに参加する中学生の壮行式を開催。激励を受けた生徒16人は8月2日から16日間、オーストラリアのメルボルンでホームステイ。ホストファミリーや現地の生徒と交流を深めました。

一生懸命ボールを追って



ボールを追う子どもたち

三渡海サッカー大会が7月18日ほか全4日間の日程で開催されました。総社をはじめ、県内外から小・中学生チーム166チームが参加。総社北公園陸上競技場や、高梁川河川敷グラウンドなど市内7か所で熱戦が繰り広げられました。

命名 キボウとタンタン



命名者に賞状を手渡す

6月8日・9日にきびじつるの里でふ化した2羽のタンチョウの子どもの名前が、「キボウ」と「タンタン」に決まりました。名前は市内の中学生以下の子どもから募集。758点の応募のなかから選ばれました。

ベストを尽くし泳ぐ



客席から大きな声援が

学童水泳記録会が7月28日、市スポーツセンターのプールで開かれました。市内の小学生約430人が、クロールや平泳ぎなどの種目に出場。客席から大きな声援が飛び交うなか、子どもたちはベストを尽くして泳いでいました。

自然のなかでまつりを楽しむ



アユもパンも焼けたかな？

毎年恒例の高間やまびこまつりが7月18日、高間キャンプ場で開催されました。親子連れ約300人が参加。竹馬や竹水鉄砲を作ったり、パン焼きを体験したりするなど、参加者は自然のなかで夏休みの一日を楽しく過ごしていました。

100歳おめでとうございます



祝福される桐山さん

桐山毅さん(久米)が7月19日、満100歳の誕生日を迎えられ、8月5日に県と市から記念品が贈られました。大きな病気をしたことのない桐山さん。長寿の秘訣は、山登りなどでよく体を動かしてきたことだそうです。

自分だけの鉢を作る



型に合わせて鉢の形に成型

セメントと古新聞で作る鉢作り講座が8月7日、清音公民館で開催されました。セメントと古新聞で作る生地の練り合わせ方や成型方法を学んだ後、台所用容器を型にして鉢作りに挑戦。受講生は、思い思いの鉢を完成させていました。

雪舟さんを学ぶ



座禅を組む子どもたち

雪舟さんについて知ってもらおうと8月4日、宝福寺で雪舟体験学習を実施。小学生約30人が参加しました。お茶の作法をはじめ、座禅や絵を描くこと、精進料理を体験しながら、子どもたちは雪舟さんについて学びました。

山手小と十日町市中条小が交流



福山山頂で記念撮影

7月24日から26日までの3日間、新潟県十日町市の中条小学校の6年生29人が来総。夏祭りやまてへの参加や福山登山、吉備路の散策、桃の収穫・試食などの体験を通じて山手小学校の子どもたちと交流しました。



①雪舟フェスタの花火 [8/7] ②雪舟フェスタの総おどり [8/7] ③義民祭 [7/17] ④阿曾の火祭り [7/30] ⑤神在納涼まつり [7/24] ⑥総社宮の輪くぐり [7/31] ⑦備中温羅太鼓の演奏 [8/7] ⑧雪舟フェスタのええとこ囃しコンテスト [8/7] ⑨夏祭りやまて [7/24] ⑩清流まつりの踊り [7/31]



元気に夏の夜を楽しむ

各地の夏まつり

総社市民まつり「雪舟フェスタ」をはじめ、7月から8月にかけて、市内各地でさまざまな夏まつりが開かれました。夏の一夜を楽しむ親子連れらでにぎわいました。